

「歩いていこう 自分から」(令和6年度)

生駒市立生駒台小学校

はじめに

いつの時代にあっても、教育のめざすところは、

- ◇ 子どもに、確かな学力をつけること
- ◇ 子どもを、自立した社会人に育てること がある。

これまで、本校の教育は、校歌の一節である「歩いていこう 自分から」を根本理念とし受け継がれ、実践されてきた。この理念に基づき、児童も、教職員も自主・自立の精神で自己実現を目指し、日々研鑽に励む学校を目指したい。生駒台小学校が長年の歴史で培った伝統と全教職員の協力と和を礎に、創意と英知を集め、教育活動を推進していきたい。

今年度、「生駒市学校教育の目標」をもとに大切にしたいこと 「自分から 自分らしく」

【今年度の重点目標】(★:今年度特に重点をおきたい項目)

昨年度の学校評価アンケートで、私たち教職員が何を意識して取り組むかが、児童の達成感と大きくかかわっていることを再確認されたと思います。みんなが今年の重点目標をしっかり踏まえて、日々の教育活動や分掌の取組をすすめていきましょう！！

1 子どもが輝く学校

- ① できないことができるようになる学校
- ② わくわく・ドキドキ・夢に挑戦できる学校
- ③ 正々堂々となかまと学び合う学校

★学習、運動、学校行事等を通して、「できないこと」が「できるように」なるよう支援し達成感を味わわせます。(自己肯定感の醸成) ⇒ チャレンジする機会をつくる チャレンジを認めあう

・児童一人一人の良さを認め、その伸長に努め、自尊感情を育てます。

・教材教具の開発や授業研究の充実を図り、よりわかりやすい授業を実践します。

⇒ 「わかった」「できた」は大事 「なぜだろう」「もっと知りたい」があると学びがつながる

・なかまづくりを重視し、信頼できるなかま、何でも相談できる教師のもと、安心して過ごせる学級づくりを目指します。

・「すすんではたらく子」を具現化するために、委員会活動や学級活動等の場で、児童の自主的・主体的な活動機会の充実に努めます。

★元気なあいさつに始まり、喜びに満ちたあいさつに終わる学校生活を目指します。

⇒ 「あいさつ」は魔法の言葉 コミュニケーションの第一歩 ⇒ ⇒ 台小の大きな強みに

2 挑戦する学校

- ① 新しい教育実践への積極的な取組を進めます
- ② 学びの基礎・基本となる内容の確かな定着を図ります
- ③ 伝え合う力を育み、「生きる力」や「人間力」の具現化を図ります
- ④ 次への意欲につながる評価の実施を進めます
- ⑤ 学校評価を学校改革に活かします

★新しい時代に求められる教育実践への取り組みを進めます。

(教職員の研修の充実、幼小中連携の推進、情報教育、特別支援教育の充実)

令和6年度 研究主題 「生きる力にあふれる児童の育成を目指して」

～自分の思いや考えを伝え合う力を育む～国語科を通して

⇒デジタル技術の活用→自分のペースで自分らしく主体的に楽しく学ぶ・一人ひとりを伸ばす教育

★家庭と連携し家庭学習の習慣化を図り、学ぶ意欲や習慣を身につけた児童の育成を目指します。

⇒学年×10分の家庭学習 ←『家庭学習の手引き』の活用 「学ぶことは楽しい」を私たちの姿で

・授業を通して伝え合う力を育て、実生活の中で、よりよい人間関係を育むためのコミュニケーション能力を高めるとともに、「深い学び」を追究します。

・体力づくりの取組を進め、運動好きな児童を育成します。

(体づくり体操の実施・体幹を鍛える活動・外遊びチャレンジの推進を継続)

・教育目標達成状況について、自己評価とともに学校関係者評価を踏まえ、学校改善に努めます。

3 信頼される学校

- ① 子どもが伸びる学校
- ② 教職員が生き生きと元気な学校
- ③ 取組や活動が見える学校
- ④ 地域から学ぶ学校

★学校運営協議会を基盤とし、コミュニティースクールとして、地域関係機関・団体等と連携を深めながら、地域とともにある学校づくりを推進します。

⇒地域学校協働活動(学校ボランティア)の積極的な取組

・地域人材に支援や応援を積極的に求めるとともに、信頼関係を高めます。

・近隣保幼・中学校と連携し情報交換や教師の交流を進め、保幼小中連携事業を進めます。

・学校便り、ホームページや生駒市のTwitter等により、積極的な情報発信に努めます。

★児童を不審者や事故・災害等の危険から守るため、保護者・地域と連携を図り、安心で安全な学校体制整備を行います。(感染症対策の徹底・熱中症対策の徹底)

⇒「学校に行くことが楽しみ」と 誰もが思える台小をめざして